

〈熊本テクノポリスは「人間が住む」街です〉

今日、大都市は「人間が住む」場としてみると、過密による種々の問題に直面しています。この中で、自然環境、気象条件、居住水準など、どれを取りあげても、熊本では、人々が住み続けるための高い水準が保たれています。

熊本ではいま、豊かな自然環境や伝統、文化などのすぐれた特性を生かし、将来に財産として引き継いでいくことができるような質の高い生活空間、生活の場をつかっていくための「地域住宅計画」(ホープ計画)への取り組みが「緑を創り水を生かす住宅計画」をキャッチフレーズにはじめられています。

熊本テクノポリスでは、研究者、技術者、地域の人々、あるいは農業者など種々な人々の生活が交わり合うなか、活力があり、また、のびやかな生活の場が創り出されていきます。

21世紀の熊本テクノポリスは、いまより更にすばらしい「人間が住む」街です。

